

令和元年度 第3回学校運営協議会（議事録）

1 校長挨拶

- ・平成31年度学校経営計画の評価と令和2年度学校経営計画の承認のお願い
 - ・本校の運営経費と目標について
 - ・来年度の系・専科について
 - ・めざす学校像とスローガン
- 以上4点について説明があった。

2 議事

議案1 平成31年度学校経営計画中期的目標と現状について（校長より）〔別紙参照〕

- ・確かな学力の育成と授業改善
- ・夢と志を持つ生徒の育成
- ・信頼される魅力ある学校づくり

Q. 離職率が大きく増加しているが原因は？

- A. 電気系で35%まで離職率が上がっていたが、電気職ではなく製造関係の職種に就いて離職しているケースが多かったことが要因と考える。また、建築関係への就職では、ステップアップのための転職も含まれている。

（協議会委員からの意見）ものづくりは求人数が多いが、米中貿易の冷え込みや新型コロナウイルスなどで景気が落ちることが予測される。消費税増税で10-12月の日本のGDPが6%ほど落ちた。これら社会情勢の影響が1年遅れて求人に影響することが考えられる。景気が悪い局面で文系より理系のニーズが増えはするが、今後の動向に注視してほしい。

平成31年度学校経営計画の評価について承認された。

議案2 令和2年度学校経営計画について（校長より）〔別紙参照〕

校長より追加・変更点を中心に説明を行った。

（協議会委員からの情報共有）GIGAスクールネットワーク構想の関係で小・中では予算確保に動いている。実際の活用方法が難しいと考えている。小1～中3までタブレット端末等導入の動きがあるが、守口ではまず小5・6から始めようとしている。

（協議会委員からの意見）

長期的には、生徒がデジタル入力し高校のサーバに保存していく方がよい。手書き⇒PDFは活用しにくく意味がない。テキストマイニングという分析方法の研究が進んでおり、ポートフォリオはそちらの方向に向かうと予想される。先を見てやられるが良い。

Q. ICT活用を目標に掲げているが予算のめどはたっているのか？

- A. 教室には有線LANポートがきており、ルータの設定変更で外部とつながることが可能。ただし端末の自由度にばらつきがあり、セキュリティの課題が残る。また1人1台となるとアクセスポイントの強化が必須。工科高校改革で無線LANやタブレットの予算は組まれるが、それまでにできることは学校予算で行っていきたい。

令和2年度学校経営計画について承認された。

各分掌よりの報告

報告① 教務部より〔別紙参照〕

- Q. 追認考査ではどのような科目が多いのか。
- A. 普通科目と専門科目を比べると、専門科目の方が多し。実習系は少ない。
- Q. 普通科目の中で文系科目が多いのか、理系科目が多いのか。
- A. 正確なデータを持ち合わせていないが、英語や数学も同程度と認識している。

報告② 生活指導部より〔別紙参照〕

- Q. 1年生を対象とした「スマートフォン教室」の具体的な内容を教えてほしい。
- A. KDDIの講師を招いて、主に有害サイトの説明を行った。我々も知らないことが多くとても勉強になった。

報告③ 相談室より〔別紙参照〕

- Q. 1回だけの利用なのか、リピーターが多いのか、どちらの方が件数として多いのか。
- A. 複数回利用する生徒が圧倒的に多い。なかなか1回の相談のみでは、解決しないことが多い。

(協議会委員からの意見) 何でも気兼ねなく相談できる雰囲気づくりは、これからも大切にして欲しい。

報告④ 進路指導部より〔別紙参照〕

- Q. 一次応募で一社絞るので校内調整が難しいと思われるが、複数応募制になる可能性はあるのか。
- A. まず大阪府のルールとして複数応募は11月から可能。一次から可能になる話は、まだ学校には来ていない。
- Q. その他進路先で、ドイツへのワーキングホリデーを希望している生徒のケースを詳しく教えてほしい。
- A. 日本の音楽関係に進みたかったが、難しい状況のため学費の安価なドイツを希望していると聞いている。
- Q. 合格率からいくと女子の方が合格率は低いのか。
- A. 学校幹部就職を希望している女子15名のうち14名は内定している。
- Q. 大学は一般入試と推薦入試どちらが多いか。
- A. 推薦制度を利用したケースがほとんどである。

報告⑤ 総務部〔別紙参照〕

- Q. 見学会・説明会等で学校を紹介した時、学校の強みの中でも、特に参加者の興味・関心があるのはどこか。
- A. アンケート結果より、総合募集では1番が就職実績、2番が資格取得、工学系は1番が進学実績、2番が資格取得です。
- Q. 体験入学の参加者の評価はどうであったのか。
- A. アンケートの結果より、「来てよかった」が80%以上である。
- Q. 事故等は起きなかったのか。
- A. 各班の体験者10名に対して、複数教員を配置。参加者への声掛けも頻繁に行う。今まで事故等は起きていない。
- Q. TA(ティーチング・アシスタント)はつけているのか。
- A. ショップによっては在校生が教えるところもある。

報告⑥ 保健部〔別紙参照〕

Q. AEDの設置場所はどこか。講習は実施しているのか。

A. 体育館と事務室前の2カ所に設置している。講習は教員向けと生徒向けを実施。救急救命士を招いて7月に実施している。

報告⑦ 生徒会活動〔別紙参照〕

Q. 実業総合体育大会の総合成績は、全体の3位とのことだが、毎年これぐらいの成績なのか。

A. 例年上位に入っている。

報告⑧ 電気系〔別紙参照〕

Q. ITパスポートというのはどういった資格か。

A. 文書作成からネットワークまで幅広くコンピュータの知識を問う国家資格である。

Q. 課題研究の班の振り分けに仕方はどのように行っているのか。

A. 希望制をとっている。資格取得は人気が高い。プログラム関係やスピーカー制作なども希望が多い。

Q. 技術英語に親しもうというテーマについて教えてほしい。

A. 技術英語検定の合格をめざしたテーマである。

報告⑨ 機械系〔別紙参照〕

Q. 課題研究の発表会は、行っているのか。

A. 前期・後期各1回行っている。

報告⑩ メカトロニクス系〔別紙参照〕

Q. ミニ相撲ロボットは大会があるのか。

A. 現状はない。富士ソフト株式会社が提供している製品を参考に作成。

(協議会委員からの意見) 工科高校内で、トーナメントなどを行うとか検討してみたらどうか。

Q. 一人一台製作したのか。

A. それか理想ではあるが、13名で4台製作。全員で作業を分担して行い、全員が関わることができた。

報告⑪ 工学系〔別紙参照〕

工学系では、課題研究で2班が全工協会主催の高校生技術・アイデアコンテストで「佳作」を受賞することができた。

大学生のOBが技術指導の手伝い、講演等を行ってくれた。

(協議会委員からの意見) OBが来てくれるのはありがたいこと。後輩に色々な話をしてやってほしい。

できればパワーポイントで大学での取り組みを紹介するなど行ったらどうか。

先輩の苦労した体験談は非常に参考になる。今後もぜひ続けてほしい。

報告⑫ 学校教育自己診断アンケート結果〔別紙参照〕

その他の質問

Q. 将来検討委員会の内容を教えてください。

A. 6クラス時の系・専科の在り方について、高大接続改革・学習指導要領への対応、工科高校改革PBLへの対応、選択科目の在り方について話し合い、共有を図った。

(協議会委員からの意見) 非常に重要な委員会。少人数のワーキンググループで進めるのがよい。頑張ってください。

最後に校長より委員の皆様へのお礼と、次年度の学校運営協議会について説明があり、閉会した。